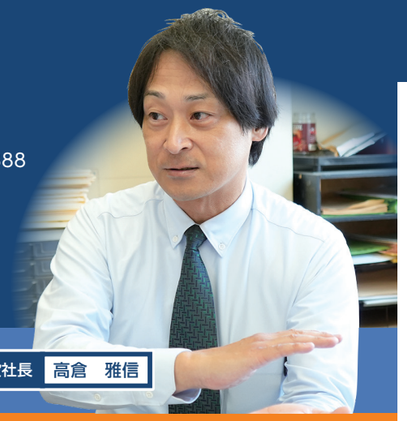
COMPANY PROFILE

有限会社 西村謄写堂

【所在地】高知県高知市上町1丁目6番4号
【TEL】088-822-0492 【FAX】088-825-1888
【E-mail】jagra@nishimura-p.jp
【URL】https://nishimura-p.co.jp
【設立】1934年(昭和9年)5月1日
【従業員】102名【資本金】350万円
【主たる業種】印刷・印刷関連業



企業概要 書籍、同人誌、キャラクターグッズなど紙製品全般の印刷・加工をはじめ、食品パッケージの仕入れ・包装、布製品の印刷・縫製などを行う。

取締役社長 高倉 雅信

事業類型：特別枠（サプライチェーンの毀損への対応） **事業分野：新たな生産方式の導入**

令和元年度 補正 3次

和紙・トレーシングペーパーの印刷加工に特化した円滑な生産体制の構築

事業計画概要 当社は、発想の多様性を重視した営業戦略を図り、非効率な工程など他社が敬遠する仕事に着目し、ニッチな需要に応える企画を提案することで事業を展開してきた。本事業を活用して新たな印刷機を導入し、一般的には難しいとされている和紙やトレーシングペーパーの印刷技術を向上させ、その分野での地位を確立する。

事業取組みの経緯

当社は、他社が敬遠する仕事こそが自社の強みになると考え、専門性の高い印刷やニッチな需要にも積極的に応え、受注をこなしながら多様な技術を習得し、効率性を高めてきた。特に、同人誌印刷やグッズ製作の分野で全国的に注目を集め、多様な形態の企画商品を手掛けるようになった。その依頼の一部にあったのが「和紙文具」である。

和紙やトレーシングペーパーといった超薄手の紙は、静電気を帯電しやすい性質があり、印刷すると紙詰まりや排紙時の紙暴れが頻出する。紙詰まりのたびに作業が止まるため作業効率が悪く、また、印刷のズレなどが生じて材料ロスも大きいため利益には繋がりにくく、印刷業界では敬遠されている状況があった。

また、顧客から製作の問い合わせが多い「和紙文具」は、多品種少量印刷になりやすいだけでなく、封筒の糊付けなどの後工程も商品ごとに異なるため、手作業を要する労働集約型加工となり、仕上げの工程に人員が欠かせない。紙粉も大量に出るため、こまめな清掃やメンテナンスに人員を充てる必要があり、印刷の精度と効率を上げることが重要となる。

同社は、少量から和紙印刷に取り組み、試行錯誤しながら印刷の精度と効率を高めるための方法を研究してきた。その結果、独自の工夫を行うことで和紙やトレーシングペーパーの紙詰まりや紙暴れを抑制し、印刷ができることを発見。その工夫を実施するのに最適なオフセット印刷機が必要となった。

そこで本事業を活用して新たな印刷機を導入し、和紙やトレーシングペーパーなど超薄手の紙への印刷能力向上を図ることとした。

実施内容

同社が研究した印刷技法を実施できる印刷機を導入。独自の工夫を行うことで和紙やトレーシングペーパーの印刷を実現した。

●四六半裁４色オフセット印刷機

事業取組みの成果

本事業で導入した印刷機に独自の工夫を行うことで、静電気の滞留が格段に起こりにくくなった。これにより、高い割合で紙詰まりや排紙時の紙暴れを抑えることが可能となり、作業が中断する回数や材料ロスが減少した。

また、排紙から検品にかかる人員を少なくでき、その分、手作業がかかる仕上げ工程に人員を配置できるようになった。

新たな印刷機導入による工程改善と人員増加により、以前と比べて３倍以上の受注を可能にする製造能力を持つことができた。和紙やトレーシングペーパーの印刷の依頼が増えるほどに印刷オペレーターの経験値が上がり、印刷技術も向上している。

製品内容

●超薄手の紙への印刷物

和紙やトレーシングペーパーなど超薄手の紙への印刷。また、その紙を用いたグッズ製作。

今後の活動予定・販売計画

キャラクター関連グッズの企画業者や文具メーカーなどに対し、和紙を用いたグッズの企画提案を行っていく。特に、女性をターゲットにしたキャラクターにおいては、和紙を用いたグッズの展開がしやすいため、企画業者からも従前より提案を求められている。

また、展示会などに参加すると、超薄手の紙の印刷に困っているケースが多いことが分かり、同業である印刷業者からも受注できる可能性が出てきている。

和紙にはさまざまな種類があるので、これまで通り難しい依頼にも積極的に応えながら、印刷オペレーターや内職スタッフの技術を向上させていく。